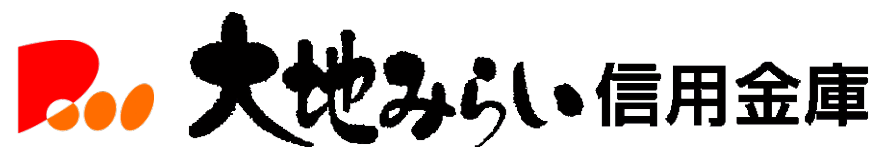


# 第98期（平成25年度） 決算説明資料



平成26年6月18日

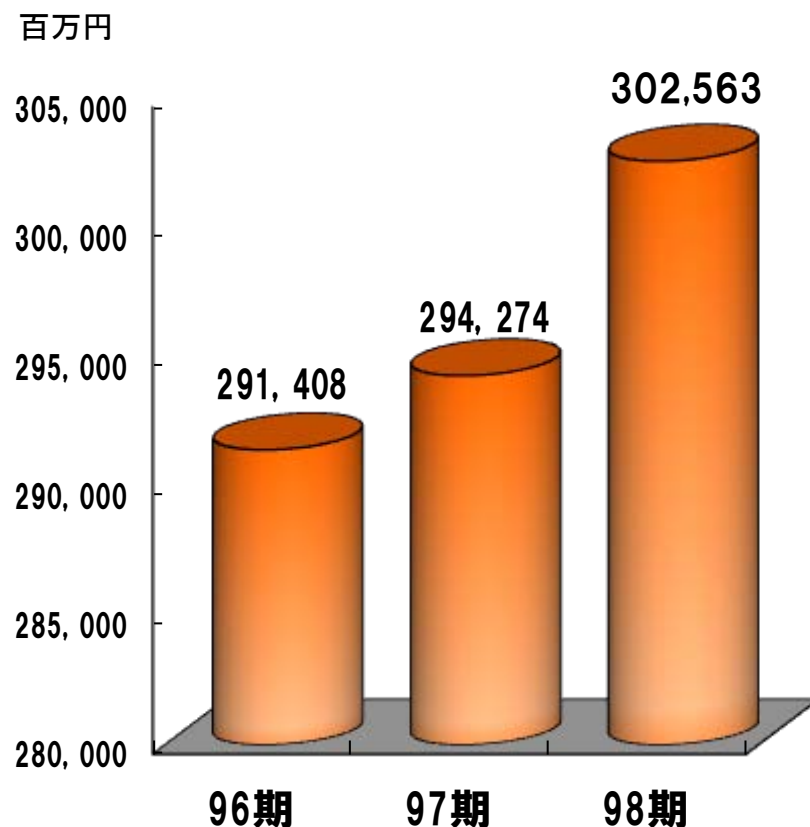
# 1. 預金・貸出金・有価証券(末残)

単位:百万円

	第96期 平成24年3月期	第97期 平成25年3月期	第98期 平成26年3月期	
預金残高	291,408	294,274	302,563	+2.81%
貸出金残高	133,253	134,486	134,095	△0.29%
有価証券残高	109,525	111,461	107,945	△3.15%
総資産額	318,245	323,217	331,048	+2.37%

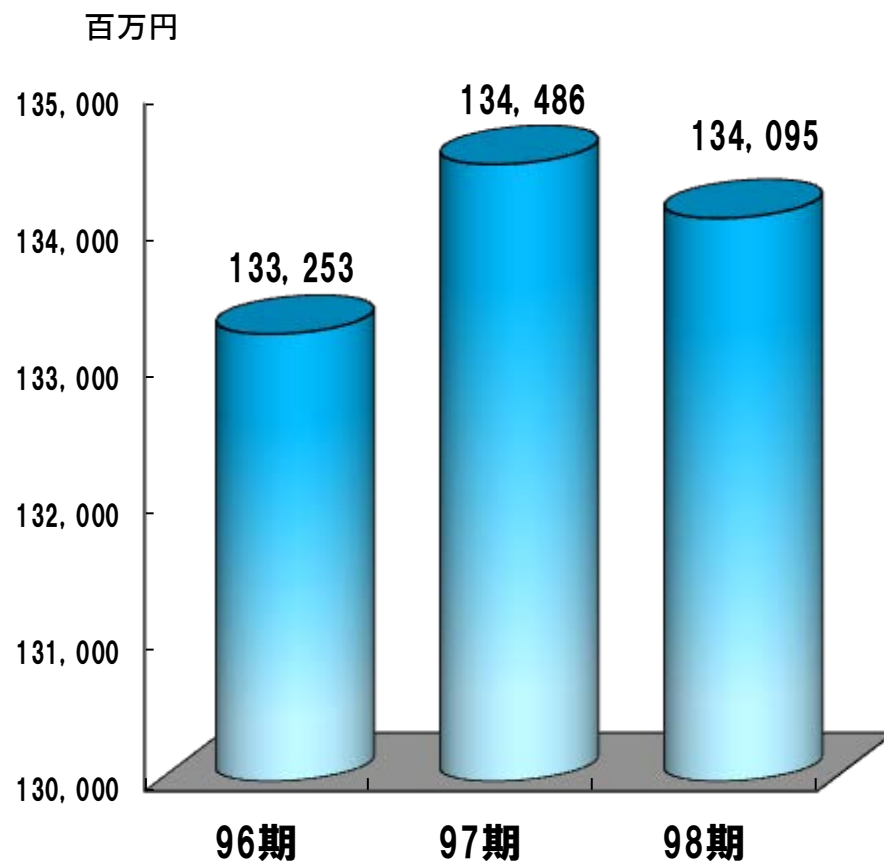
# 預金

- 預金積金残高は前年比2.81%増加の3,025億円となり、決算時点では過去最高残高を更新しました(通期での過去最高額は平成25年12月30日の3,162億円)。
- 金利プレミアム定期預金・定期積金「グランドみらい」定期預金「グランドみらいⅡ」などが好評をいただきました。



# 貸出金

- 貸出金残高は1,340億円（前年比0.29%減少）となりました。
- 事業性融資推進策の柱として創設した「ニューグローアップ資金」（地域経済成長基盤推進融資）の積極的な推進により、一般貸出は前年比2.56%の増加となりましたが、地方公共団体に対する貸出が減少となり、期末残高は前年比減少となりました。



## 2.利益関連指標

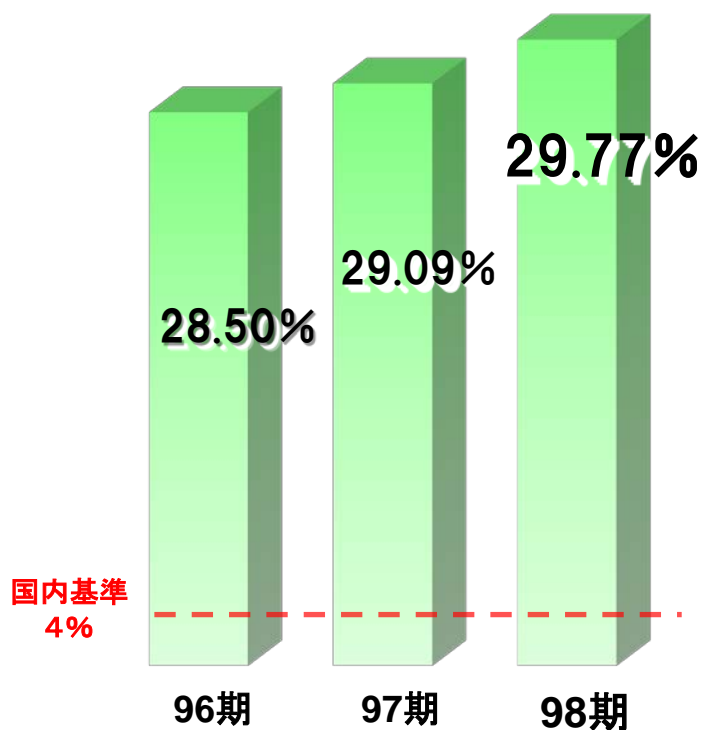
単位:百万円

	第96期	第97期	第98期	
	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	
經常収益	5,633	5,411	5,557	+2.70%
業務純益	1,153	1,417	1,300	△8.29%
經常利益	1,094	1,181	1,140	△3.40%
当期純利益	612	649	656	+0.97%

# 利益関連

- 業務純益、経常利益は減少しましたが、当期利益は増加となり、いずれも安定した推移となっております。
- 貸出業務に積極的に取組んだことや、安全性を重視した有価証券運用によって安定収入を得たことが要因となっております。
- 貸出金利回りの低下により利息収入は減少しましたが、各種経費の見直しや業務の効率化により、増益となりました。

# 3. 自己資本比率



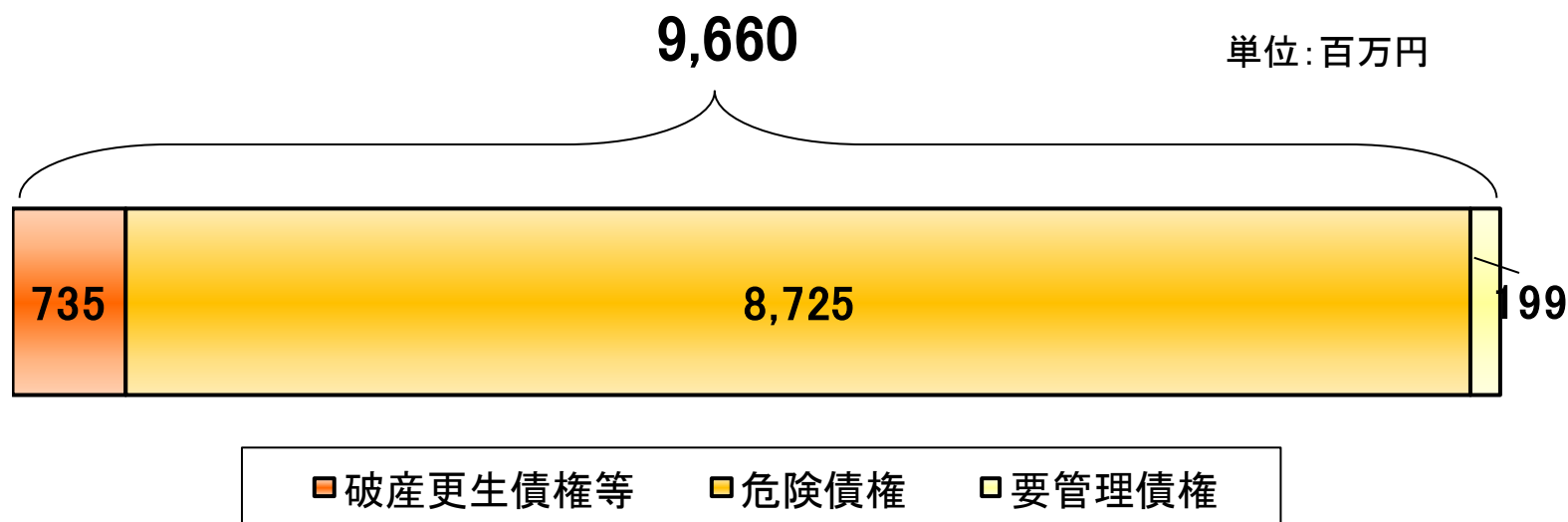
- 自己資本比率は29.77%と前年比0.68ポイント上昇しました。
- 国内業務を行う金融機関の基準である4%を大幅に上回っており、今後の経営環境の変化にも積極的に対応できる水準にあります。

## 4. 経営諸比率

	第96期	第97期	第98期
自己資本額(百万円)	21,468	22,075	23,617
リスクアセット(百万円)	75,315	75,864	79,306
預貸率(末残)(%)	45.72	45.70	44.31
預証率(末残)(%)	37.58	37.87	35.67
役職員一人当り預金残高(百万円)	1,289	1,319	1,338
役職員一人当り貸出金残高(百万円)	589	603	593
1店舗当り預金残高(百万円)	13,876	14,013	14,407
1店舗当り貸出残高(百万円)	6,345	6,404	6,385
役職員数(人)	226	223	226
店舗数(店)	21	21	21



## 5. 不良債権額(金融再生法ベース)



- 不良債権比率 7.13%(前期比 0.11ポイント上昇)
- 保全率(担保・保証および貸倒引当金によりカバーされる割合)は98.87%と、前期比0.34ポイント低下しましたが、引き続き高い引当水準を保っております。

# 6. 第98期のTOPICS

## ➤ 「東西の古地図に見る日本・北海道・千島」展の開催

根室市で古地図展を開催し、来場者の皆様から好評をいただきました。

## ➤ 札幌医科大学との包括連携協定を締結

産学の連携を通じて、お互いの発展と地域医療の向上などを目的に、札幌医科大学との包括連携協定を締結いたしました。

## ➤ 経済講演会『世界経済金融の大転換期』を開催

東京大学大学院教授 伊藤隆敏氏、日本経済新聞社編集委員 滝田洋一氏らを招き、経済講演会を釧路市で開催いたしました。

## ➤ 北海道「戦略産業雇用創造プロジェクト」指定金融機関の認定

雇用情勢の厳しい地域において、雇用構造の改善に対応するための事業として、同プロジェクトの指定金融機関に厚生労働省の認定を受けました。